



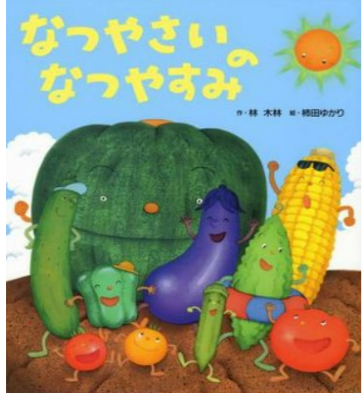
ぱたぽん通信

制作：東野小 学校応援団ぱたぽん 発行：PTA会長 秋葉 真由美

2022年
7月号

7月13日(水)に今年度第2回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

1-1 『なつやさいのなつやすみ』



林 木林 作
柿田 ゆかり 絵
ひかりのくに株式会社/2012年
なつのはたけになつやすみがやってきた！なつやさいたちはプールへゴー！ダジャレたっぷり、ユーモアたっぷり。おいしいなつやさいをめしあがれ。

他 『しゃっくりがいつ』 セーラ出版

(栗谷 陽子)

2-3



学級閉鎖のため読み聞かせもお休みでした

1-2 『めっきら もっきら どおん どん』★



長谷川 摂子 作
ふりや なな 絵
福音館書店/1990年
遊ぶ友達のいないかんたが1人、神社でめちやくちやな歌をうたう。すると不思議な三人組が現れて…。夏にぴったりの楽しい一冊です。

(河東 友子)

2-4



学級閉鎖のため読み聞かせもお休みでした

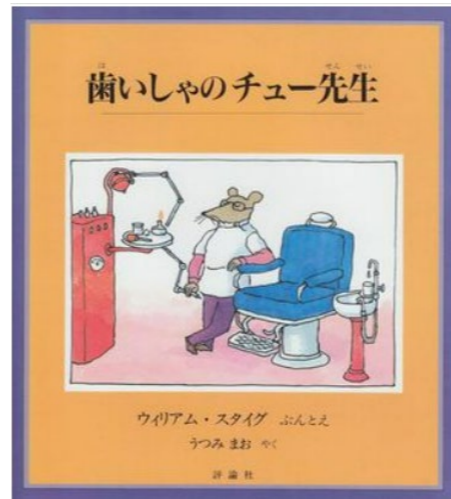
1-3 『カエルのおでかけ』★



高島 那生 作/絵
フレーベル館/2013年
カエルにとってのいい天気は雨。今日の天気は大雨です。カエルはよろこんで、おでかけします。雨の日が楽しくなりそうなおはなしです。

(西澤 美穂子)

3-1 『歯いしゃのチュー先生』



ウィリアム・スタイク 作/絵
うつみ まお 訳
評論社/1991年
チュー先生はとても腕のよい歯医者です。ある日、キツネが痛む歯をおさえて来ました。歯を治してもらったキツネは先生を食べようしますが…。

(堀口 美樹)

1-4 『うれしいさん かなしいさん/かなしいさん うれしいさん』★



まつおか きょうこ 作/絵
東京子ども図書館/2012年
「まえからよんでうしろからよんでまんなかでであうおはなし」とかいてあるちょっとかわったえほんです。かなしいさんとうれしいさんはどんなふうにあうかな？

(佐藤 法子)

3-2 『これはのみのぴこ』★



谷川 俊太郎 作
和田 誠 絵
サンリード/1979年
つぎつぎと登場する人間や動物たち、知らない間にどんどんつながっていった。読んでいくうちに自然と早口になってしまうお話絵本です。

(菅原 幸子)

2-1 『ガンピーさんのふなあそび』



ジョン・バーニンガム 作/絵
みつよし なつや 訳
ほるぷ出版/1976年
ガンピーさんが舟で出かけると、子どもたちが「乗せて」とお願いしました。「いいよ」と乗せると次にうさぎも…。つぎつぎ乗りこんできて、さあどうなるでしょうか！

他 『うしはどこでも「モー！」』 すずき出版

(飯村 愛子)

3-3 『メアリー・スミス』

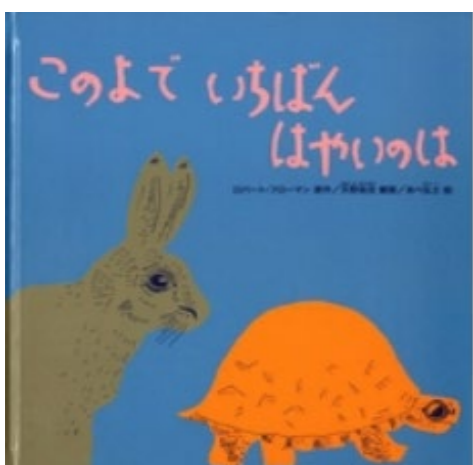


アンドレア・ユーレン 作/絵
千葉 茂樹 訳
光村教育図書/2004年
月曜日の朝、よあけを待たずに家を出て、町へといそぐ、メアリー・スミス。ゴムのチューブに豆をこめ、ふいてとばす、その仕事とは？

他 『ぼくのかえりみち』★BL出版

(相馬 佳奈)

2-2 『このよでいちばんはやいのは』★



ロバート・フローマン 作
あべ 弘土 絵
天野 祐吉 訳
福音館書店/2011年
カメとうさぎの競走から始まる一番はやいものは何だろうか？と考えるながら読み進める絵本です。さて、この世でいちばんはやいのは何でしょう？

(三澤 文美佳)

3-4



担当者が欠席のため、担任の俵屋先生が読んでくださいました

4-1 『がっこういこうぜ!』



もとした いづみ 作
山本 孝 絵
岩崎書店/2011年

かぜはなおったのに学校に行きたくないけど。ともだちのせいぎくんが迎えに来て、学校に行きたくない理由を聞くと、なんと妖怪がじゃまを。。

(上野 邦晴)

5-2 『はじまりの日』



ボブ・ディラン 作
ポール・ロジャース 絵
アーサー・ピナード 訳
岩崎書店/2010年

アメリカのミュージシャン、ボブ・ディランの名曲「フォーエバー・ヤング」の絵本です。主人公も読んでいます。君、も、今日が始まります。気楽に読める一冊です。

(佐藤 祐子)

4-2



担当者が欠席のため、担任の駒崎先生が読んでくださいました。

5-3 『空とぶライオン』



佐野 洋子 作/絵
講談社/1993年

あるところに立派なたてがみといさましい声をしたライオンがいました。ライオンはねこの為に毎日獲物をとってごちそうをしていますが、本当は昼寝がたくて仕方ありませんでした。

(中野 仁美)

4-3 『わたし、くわがた』★



得田 之久 作
たかはし きよし 絵
かがくのとも絵本/2006年

くわがたのメスの視点から、生態をわかりやすく説明しています。毎日どのように過ごして、どのように卵を産むのか。あまり表に出てこないメスのくわがたの思いが詰まっている一冊です。

(増田 真弓)

6-1



担当者が欠席のため、担任の白田先生が読んでくださいました。

4-4 『あいすることあいされること』★



宮西 達也 作/絵
ポプラ社/2013年

ずるがしこくてきわわれものでひとりぼっちのきよりゅうは、大きくておいしそうなたまごをだいににおんがしてすごしていると。。さてたまごはどうなるでしょう。

(唐 勝子)

6-2 『吾輩は猫である』



夏目 漱石 作
武田 美穂 絵
齋藤 孝 編
ほるぷ出版/2006年

明治時代のベストセラー小説！この絵本では猫の世界的面白さがよく出ています。人間の世界を猫の視点から面白おかしい内容です。

(森田 有子)

5-1 『せかいで いちばん つよい国』★



デビッド・マッキー 作/絵
ながわ ちひろ 訳
光村教育図書/2005年

昔、大きな国がありました。征服してないのは、小さな国たったひとつになりました。この国に着いてみると、なんと兵隊がいません。。

(川畑 けい子)

6-3 『かくれちゃったのだあれだ』



三原 順 作/絵
白泉社/2009年

大人の言う事なんか聞きやあしない子供達は一番立場の弱い子に自分勝手な都合を押しつけます。それが引き起こした悲劇。本当の意味を知ることあるのでしょうか？

(藤田 佳子)

「ぱたぼん」は、絵本「まりーちゃんとひつじ」のひつじの名前からとりました。
東野小 読み聞かせ活動の名前です



次回の読み聞かせは
9月14日(水) 8:25~8:40です。

お楽しみに!

なお、保護者のみなさんも見学できます。
ぱたぼん通信が本選の参考になればうれしいです♪